



おおあらい

Vol.371



地域を守る防火クラブ（消火器取扱い訓練）関連記事5ページ

特集

平成13年度決算 町の家計簿をお知らせします...P. 2

Index

わが町トピックス	P. 4
みんなのひろば	P. 8
町のわだい	P.10
くらしの情報	P.12



平成13年度 町の家計簿をお知らせします

輝く人・あふれるやさしさ・海の音響くまち大洗の実現を目指したまちづくりを進めています

本町では、海を活かしたまちづくり、人を育むまちづくり、安全・安心なまちづくりを3本の柱として、町民と行政が一体となつて、創造力と活力に満ちた元気なまちづくりのため、財政において町民生活に直結する各種施策や本町の更なる発展のための諸施策を積極的に進めています。

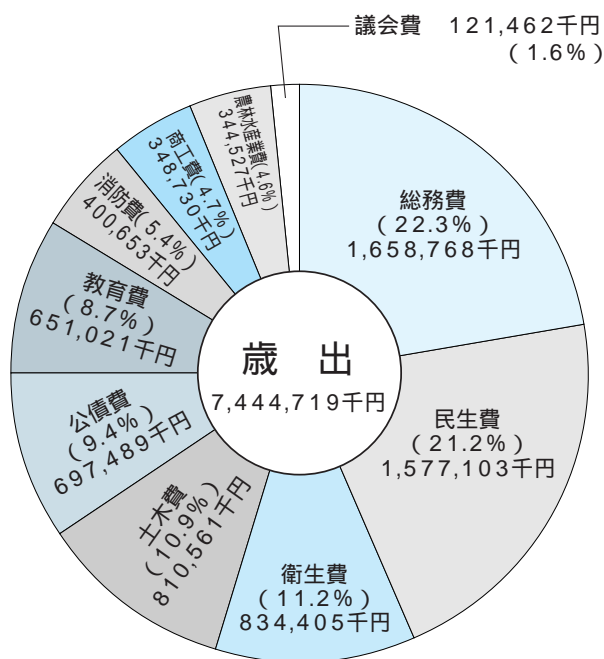
平成13年度の決算状況

平成13年度の決算額は、一般会計で歳入総額79億1691万6千円、歳出総額74億4471万9千円となりました。

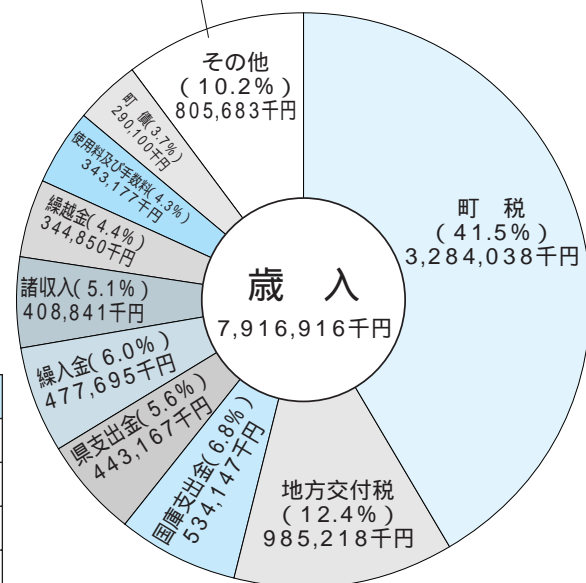
歳出総額から歳入総額の差引額は、経費削減を図つた結果、4億7219万7千円となり、この金額から平成14年度へ繰越した事業のための財源5290万7千円を除く実質収支は4億1929万の黒字となりました。

この財源については、後年度の財政負担を考慮しての基金の積立、学校施設、道路整備など町民生活向上のため、効率かつ有効に活用し、健全財政運営に努めています。

一般会計



分担金及び負担金	203,471千円
地方消費税交付金	191,271千円
財産収入	116,792千円
利子割交付金	81,511千円
地方特例交付金	65,960千円
地方譲与税	61,993千円
ゴルフ場利用税交付金	44,610千円
自動車取得税交付金	31,122千円
寄附金	4,886千円
交通安全対策特別交付金	4,067千円









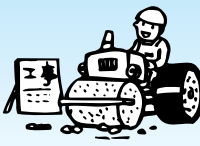



町税の状況

区分	収入済額(比率)	
町民税	7億9,883万円 (24.3)	
内訳	個人	6億4,405万円 (19.6)
	法人	1億5,478万円 (4.7)
固定資産税	20億9,170万円 (63.7)	
軽自動車税	2,267万円 (0.7)	
町たばこ税	1億4,786万円 (4.5)	
都市計画税	2億265万円 (6.2)	
入湯税	2,033万円 (0.6)	
合計	32億8,404万円(100.0)	

町民1人当りに使われたお金(一般会計)

377,024円

[平成14年3月31日]
人口 19,746人

議会費 町議会の運営のために  6,151円	総務費 町有財産、企画開発、町民会館、税、戸籍等住民サービスの運営などに  84,005円	民生費 高齢者や障害者の福祉、保育所の運営などに  79,870円	衛生費 ごみの処理、医療の充実などに  42,257円	農林水産業費 農業・漁業の振興のために  17,448円
商工費 商業の振興、マリントワー、海水浴場の運営などに  17,661円	土木費 道路や公園の整備などに  41,049円	消防費 消防・救急の運営などに  20,290円	教育費 学校改修や公民館の運営、生涯学習の推進などに  32,970円	公債費 借入金の元金・利子の支払いに  35,323円

町民1人当たりの
貯金額は(印部分を除く)
75,874円

積立金の状況

名称	13年度末現在高
財政調整基金	3億3,702万円
運動公園建設基金	2,056万円
無線放送施設更新基金	227万円
教育振興基金	1,652万円
社会福祉基金	9,201万円
消防車両購入基金	109万円
大洗マリントワー運営基金	4,586万円
地域福祉基金	2億4,133万円
減債基金	3億2,381万円
地域づくり推進事業基金	6,195万円
学校施設整備基金	3億5,180万円
健康福祉センター施設整備基金	300万円
浜っ子すこやか報奨金基金	100万円
国民年金印紙購入基金	1,600万円
土地開発基金	1億9,131万円

借入金の状況(一般会計)

借入金	金額
財務省財政融資資金	21億5,857万円
総務省簡易保険局	3億7,675万円
公営企業金融公庫	3億9,629万円
茨城県	4億258万円
市中銀行	25億1,569万円
その他(共済組合等)	9,335万円
計	59億4,323万円

町民1人当たりの
借金額は
300,984円

特別会計の決算状況

会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	18億6,916万円	18億5,655万円	1,261万円
地方卸売市場冷蔵倉庫事業	4,080万円	3,846万円	234万円
老人保健	20億2,243万円	20億2,243万円	0万円
公平委員会	1,832万円	1,705万円	127万円
公共下水道	7億8,275万円	7億3,597万円	4,678万円
介護保険事業	7億3,054万円	7億1,461万円	1,593万円
公園墓地事業	1,461万円	812万円	649万円

企業会計の決算状況

水道事業	収益	5億43万円	5億5,715万円	5,672万円
	資本	5,722万円	1億4,749万円	9,027万円

水道事業の不足分は、繰越利益剰余金、損益勘定留保資金などで補てんしました。

大洗町の原子力事業所は 安全第一に技術開発に取り組んでいます

原子力発電所における
自主点検作業の不適切
な取り扱い

電力会社所有の原子力発電所の自主点検作業における事実隠しや修理記録等への虚偽の記載などの不適切な取り扱いが連日のように報道され、

「大洗町の原子力施設の安全管理はどうなっているのか」と心配されている方もいるのではないのでしょうか。

今回の問題は、原子炉の安全上の問題（故障や事故への波及）よりも安全を最優先すべき原子力発電所の自主点検作業において、ひび割れやその兆候の発見、修理作業について不正な記載等が行われたことが大きく報道されました。

大洗町にある原子力施設は最先端の技術開発を行う国の

研究施設であり、採算性に左右されることなく安全を第一に運転を行っています。

原子力関係事業所に対し
国と茨城県が総点検

原子力発電所における自主点検作業の不正を受けて、文部科学省と茨城県は原子力関係事業所においても自主点検作業記録が適切に実施されるよう強く注意喚起を行うとともに各事業所に対して自主点検についての報告を求めました。

大洗町の原子力施設も自主点検作業記録に関する総点検を実施し、定期自主点検記録等で作業記録が適切に作成されていたことを文部科学省と茨城県に報告いたしました。

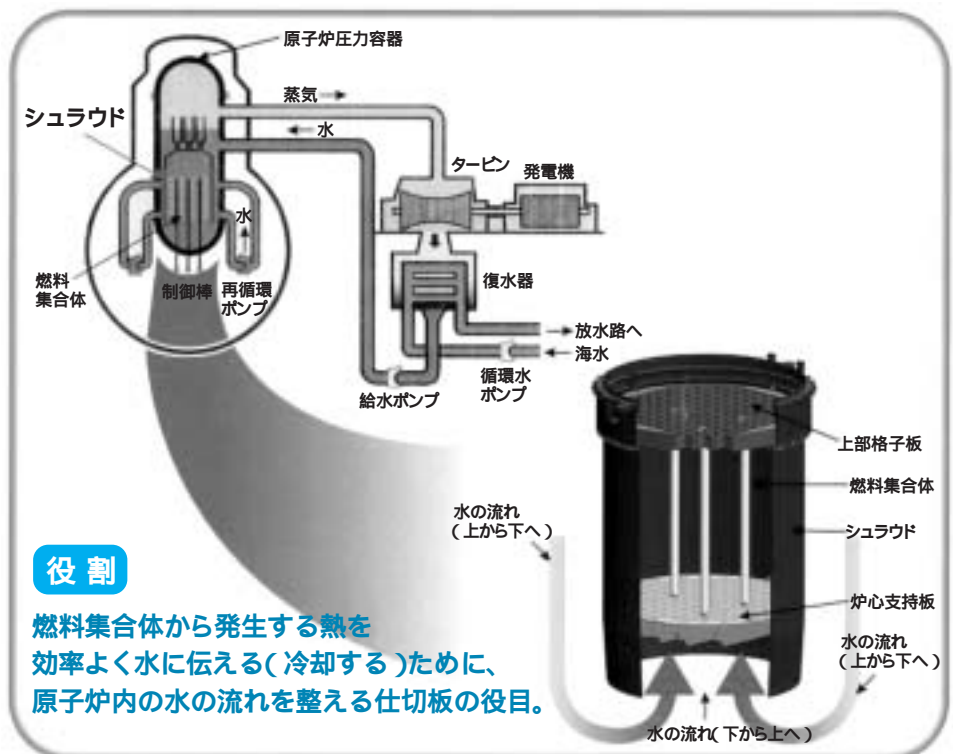
その内容については大洗町にも報告があり、安全を確認いたしました。

原子炉炉心隔壁（シユラウド）のひび割れとは

東京電力（株）所有の沸騰水型軽水炉（BWR）の原子炉炉心隔壁（シユラウド）にひび割れが見つかったことから今回の問題が表面化しました。

炉心シユラウドは炉心を取り囲むように配置された円筒状のステンレス製の構造物で直径4〜5m、高さ7〜8m、厚さ3〜5m、原子炉内の冷却材の流れを調整しています。

ひび割れの多くは溶接された部分に沿って発生し、原因としては高温、高圧の環境、中性子照射等によるものと推定されます。



役割

燃料集合体から発生する熱を効率よく水に伝える（冷却する）ために、原子炉内の水の流れを整える仕切板の役目。

大洗町には、高速実験炉「常陽」、高温工学試験研究炉「HTTR」、材料試験炉「JMTOR」の3基の原子炉があります。3基とも沸騰水型軽水炉ではなく、原子炉炉心隔壁（シユラウド）が使われている形式ではありません。



大洗町女性防火クラブが 消火器取り扱い訓練を実施

9月26日、大洗マリンタワー西側駐車場において大洗町女性防火クラブによる消火器取り扱い訓練が行われました。

町内各地区の女性防火クラブから30名が参加、消火時には炎の下を狙う、屋内では上からかける、屋外では風上からかけるなど消火器の使い方について消防職員の指導による実践的な訓練を行いました。参加者からは「いざというときにあわてずに初期消火ができそうです」「消火器の使用期限を確認しておきたい」などの声が聞かれました。

火災予防ポスター展

町女性防火クラブ主催による町内小学6年生の火災予防ポスターの展示会を行っています。

皆様のご来場をお待ちしております。

期間 11月5日(火)～12月15日(日)

場所 中央公民館 ジャランジャラン

問合せ 町消防本部警防係 ☎266-1119

秋季全国火災予防運動

11月9日～11月15日

『消す心 置いてください 火のそばに』

なくそう住宅火災 守ろう家族!

近年の建物火災の死者のうち、住宅火災による死者が約9割で、そのうち約半分が高齢者です。

これからの高齢化社会に向けて高齢者の生活習慣を考えた家庭における避難対策、住宅用防火機器の設置や防災物品使用など火災予防が大切です。

【住宅防火 いのちを守る7つのポイント】

3つの習慣・4つの対策

3つの習慣

寝たばこは、絶対やめる

ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する

ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する

寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する

火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する

お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

第53回茨城県消防ポンプ操法 競技大会東茨城地区大会

大洗町消防団第三分団が優勝

10月12日(土)消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会が茨城県立消防学校において行われ、大洗町消防団第三分団が見事優勝の栄誉に輝きました。

第三分団はこの大会に向けて夏場から訓練を開始。毎朝5時から7時までの限

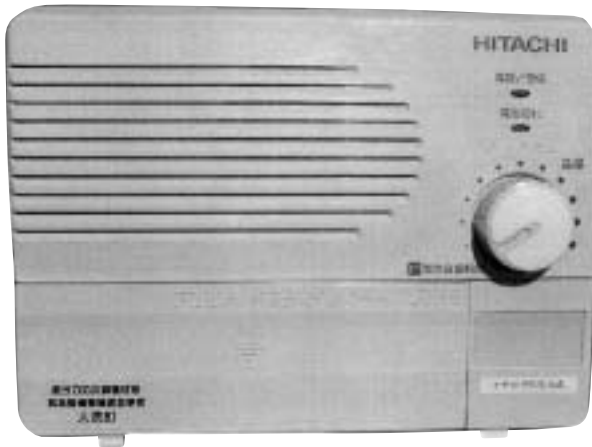
られた時間を利用して練習を積んできました。

大会では6名の選手たちがぎびぎびとした動きでポンプ車からの放水ホースの延長などを披露しました。

また、優勝を記念して永町商店街をパレードし、14年ぶりの快挙を祝いました。

- 第三分団出場選手
- 指揮者 澤 和男 (髭釜2区)
- 1番員 関根北斗 (五反田2区の2)
- 2番員 後藤昌弘 (永町6区)
- 3番員 細野谷至功 (髭釜2区)
- 4番員 飯田英樹 (髭釜2区)
- 補助員 小沼貴弘 (桜道2区)





防災行政無線戸別受信機を正しく利用しましょう

9月30日に行われた原子力防災訓練時に防災行政無線が聞こえない、聞き取りにくいなどの問い合わせが町に数多く寄せられました。日ごろから戸別受信機の電源を入れておくなど放送が聞き取れるよう皆さんのご協力をお願いいたします。

また、転居や転出および使用されなくなった場合は、役場生活環境課までご連絡ください。

転居や転出をされるとき

町内に転居する場合、転居地区によって受信できなくなりますので役場までご連絡ください。アパート・借家・寮などは設置したままにしてください。また、転居先に受信機が設置されていない場合にはご連絡ください。

受信機は町の貸与品です。町外に転出される場合は、返却してください。「戸別受信機」は町内でのみ使用できません。

問合せ / 生活環境課原子力防災係

☎ (267) 51111

(内線246・247)

故障等の連絡先

故障時には、戸別受信機取扱いプレートに書いてある電気店に直接ご連絡ください。修繕費については無料です。(乾電池については有料となります)

災害時の緊急放送を受信していただくための注意点

電源コードをコンセントから抜かない
年に1回は乾電池の交換をする
受信機は電波をアンテナから受信するしくみとなっています。電波の受信状態が悪く雑音が入る場合には向きを変えたり、アンテナが完全に伸びているかなどをご確認ください

大洗町交通安全町民歩行パレードを開催



10月9日、町内の30団体、約600名が参加し、大洗町交通安全町民歩行パレードが開催されました。交通安全運動決意表明などが行われた開会式の後、大洗高校マーチングバンドを先頭に大洗文化センター前を出発、大貫郵便局前までの町内バス通りを交通安全を呼びかけながら歩きました。

【主な参加団体】

安全運転管理者事業所、祝町幼稚園、大洗町観光協会、大洗町議会議員、大洗町漁業協同組合、大洗町交通安全母の会、大洗町高齢者クラブ連合会、大洗町子ども会育成連合会、大洗町商工会、大洗町女性連合会、大洗町PTA連絡協議会、大洗町役場、大洗ライオンズクラブ、大洗ロータリークラブ、こすもスクール、第一保育所、第二保育所、滝口保育園、夏海幼稚園、ひじり保育園、水戸地区交通安全協会大洗支部 (50音順)

環境

第2回 ひぬま環境フォーラム

クリーンアップひぬまネット

ワークでは、日頃行っている身

近な水質浄化活動の事例発表や

酒沼の水についての講演などを

行います。フォーラムをとおし、

酒沼の水質浄化について考えて

みませんか。

日時 / 11月21日(木)

13時15分～

場所 / いこいの村酒沼大ホール
(旭村箕輪3604)

内容 /

小中学生の酒沼水質浄化ボス

ターおよび標語入賞者表彰

水質浄化活動の発表

講演「民俗的にみた人と酒沼

のかかわり」講師・茨城県郷土文

化研究会副会長 佐藤次男さん

問合せ / クリーンアップひぬま
ネットワーク事務局
(茨城県環境対策課内)
☎(301)2966
または生活環境課
(内線244)

随想

人にやさしいまちづくり

大洗町長 小谷隆亮

空も一段と高く、飛ぶ雲、吹く風も冬に向かって
います。寒さが増すこのごろ、ふと私の心にあ
たかな地域の風景が浮かびました。近所の人達
が集まり、縁側や縁台で語らう姿。ひとりひと
りのやさしさや地域のつながりは大きな財産であ
ります。

昨年から商工会や宮下町内会、ボランティア団
体や福祉団体の代表者などがわが町をどのように
改善していったら良いかを検討する「人にやさし
いまちづくり研究会」を立ち上げ、商店街と宮下
旅館街を総点検していただき、様々な提案をいた
だきました。

人にやさしい町というこれまででは公共施設に
スロープをつくるなど施設面にとらわれがちでし
たが、これからはハード面でのバリアフリーとと
もにわが町の持っている魅力である人情や思いや
りの心で高齢者や障害者を支える心のバリアフ
リーをあわせて進めていかなければなりません。

永町商店会にオープンしたほっとサロン「永町
の縁台」もそのような取り組みの一つであります。誰も
が気軽に集まり和気あいあいとお茶を飲んだり、おしゃべりしたりで
きる憩いの場所です。永町商店会や社会福祉協議会、特別養護
老人ホームひぬま苑などが運営にあたり、商店街のお買い得な
情報や日々の健康相談、福祉に関する様々な情報なども提供さ
れ、地域の憩いの場となりつつあるようです。

このようなふれあいの拠点が町内に生まれてくることにより
町に元気が出てきます。各商店についてもお年寄りや障害者の
身になって、ちょっとしたもので家に届けたり、何かと手助
けをしたりしながら、会話のやりとりの中で楽しく買い物をして
いただく。これが地元商店街と大型量販店との差別化を図っ
ていくための鍵となります。

人にやさしいまちづくりに一番必要なものは、皆さん一人ひ
とりの意識と協力であり、それが無くては何も成しえません。
皆さんとともに笑顔が絶えない、心がふれあえる人の和を全町
的に広げていこうではありませんか。

投稿

心洗われるボランティアの人達

祝町 山形 雄三

私は毎朝、祝町から海岸道路を健康のために歩
いている。昇る太陽が波間にきらきらと輝き、そ
のさわやかさは疲れを癒してくれる。しかし、足
下を見ると心ない観光客が捨てたゴミがあちらこ
ちらに散乱して不快な気分になる。

しかし、そのゴミを毎日早朝よりボランティア
で大きな袋に拾い集めている女の方がいるのに気
づいた。

おかげで広い駐車場が毎日きれいにされ、訪れ
る観光客は気持ちよく過ごすことができ、町のイ
メージアップにおおいに役立っていると感じた。

女性は他の場所でもゴミを拾っているという
「私は元来、体が弱かったがこれをやりだしてか
らすっかり今では丈夫になった。誰に頼まれたわ
けではなく、健康法としてありがたくおもってや
っている」とおっしゃられた。

水平線から昇った太陽がニッコリ微笑むその頬
を明るく照らしていた。身も心もすがすがしくな
った私はすっかりきれいになった歩道を足どりも
軽く歩くのだった。